第 15 回 国際芥川龍之介学会(ISAS) オンライン大会 プログラム(2020.12.18 版) International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

大会テーマ:コロナ禍と芥川龍之介研究の可能性

期日:2020 年 12 月 19 日(土)研究発表・講演、20 日(日)研究発表・シンポジウム 会場(形態):オンライン

大会全体総括 堀 竜一(新潟大学/日本・大会実行委員長) 大会進行 (第1日目)木村 素子(上智大学大学院/日本・大会実行委員) (第2日目)村山 麗(上智大学大学院/日本・大会実行委員)

〔第1日目〕12月19日(土)

10:00 開会

◇開会の辞(会長挨拶) 国際芥川龍之介学会会長 髙橋 龍夫(専修大学/日本)

【第 I 部】 10:15~11:45 司会:金子 佳高(科学技術学園高等学校/日本) 個人発表① 「羅生門」の構成について一下人の行動と心一

今野 哲(日本体育大学/日本)

個人発表② 「羅生門」の〈情調〉と〈心理〉—森鷗外から志賀直哉へ 小澤 純(慶應義塾志木高等学校/日本)

11:45~13:00 昼食休憩

【第Ⅱ部】 13:00~14:30 司会:奥野久美子(大阪市立大学/日本) 個人発表③ 「ジャン・クリストフ」と芥川龍之介

五島 慶一(熊本県立大学/日本)

個人発表④ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」論―「悪人正機説」との関わりを中心に― 胡 逸蝶(武漢大学/中国)

14:30~14:50 休憩

【第Ⅲ部】 14:50~15:50 司会:髙橋 龍夫(専修大学/日本・本会会長) 講演 芥川龍之介の〈六朝書体〉

伊藤 一郎(東海大学元教授/日本)

〔第2日目〕12月20日(日)

【第 I 部】 10:15~11:45 司会:五島 慶一(熊本県立大学/日本)

個人発表⑤ 芥川龍之介「るしへる」について―キリシタン史料からの分析と考察

香川 雅子(上智大学キリスト教文化研究所所員/日本)

個人発表⑥ 『日本印象記』の訳者高瀬俊郎と「舞踏会」の芥川龍之介との接点について

松尾 清美(専修大学大学院研究生/日本)

11:45~13:00 昼食休憩

【第Ⅱ部】 13:00~14:30 司会:田鎖 数馬(高知大学/日本)

個人発表⑦ 芥川龍之介の遺稿「人を殺したかしら?」の諸問題

小谷 瑛輔(明治大学/日本)

個人発表⑧ 芥川龍之介「伝」・「年譜」考

一太宰治、ストラヴィンスキー、モーパッサンに関わる「記述」をめぐる課題

庄司 達也 (横浜市立大学/日本)

14:30~14:45 休憩

【第Ⅲ部】 14:45~16:45 司会: Damaso Ferreiro (広島大学/日本)

シンポジウム:コロナ禍と各国における教育・研究の現状、芥川龍之介研究の可能性

韓国:金 孝順(高麗大学/韓国)

中国:秦 剛(北京外国語大学/中国)

台湾:管 美燕(長栄大学/台湾)

日本:乾 英治郎(流通経済大学/日本)

16:55 ◇閉会の辞 国際芥川龍之介学会副会長 松本 常彦(九州大学/日本)

*会員外の方の参加も歓迎いたします。

*大会参加御希望の方は、本学会ホームページの専用フォームにてお申し込みください。

☆国際芥川龍之介学会(ISAS)

International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

☆https://akutagawagakkai.web.fc2.com/index.html

会長 髙橋 龍夫

事務局 〒270-8555 千葉県松戸市新松戸3-2-1

流通経済大学 新松戸キャンパス1号館3階5号室 乾英治郎研究室
